

エコライフみしま



第26号
2015/10/15

知っていますか？

市の鳥「カワセミ」市の木「イチョウ」市の花「三島桜」



- 特集「衣類のゆくえ」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(中郷地区エコリーダーの環境活動)・・・P4

衣類のゆくえ



クイズ: イラストで掲載されている衣類のうち、衣類回収ボックスに出せないものはどれでしょう？

～答えはP2へ～

特集／衣類のゆくえ

皆さんは、着られなくなった服をどうしていますか？服の状態によっては、燃えるごみとして処分しているのではないのでしょうか。エコライフみしま第26号では、秋から冬への衣替えの季節に合わせて、衣類の回収について特集を組みました。

三島市では、平成25年4月より、市役所や公民館など市内11箇所に回収ボックスを置き、衣類の回収とリサイクルを行っています。既にご利用の方も多いと思いますが、是非、着られなくなった衣類を燃えるごみに出すのではなく、回収ボックスに出し資源としてリサイクルしましょう。



○衣類はどこで回収を行っているの？

⇒三島市内の施設11箇所で回収しています。回収場所と回収日時は下表のとおりです。

※年末年始の休館日については、施設によって異なりますので、市ホームページ等で確認してください。

回収場所	回収ボックス設置場所	時間	休館日
三島市役所本館	玄関前	8:30~17:15 8:30~12:00 (土曜日)	土曜日(午後)、日曜日、祝日、 年末年始
三島市役所中央町別館	玄関出入口付近	8:30~17:15	土・日曜日、祝日、年末年始
三島市民生涯学習センター	玄関付近	9:00~21:00	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 年末年始
中郷文化プラザ	玄関出入口付近	9:00~21:00 (火~土) 9:00~17:00 (日、祝)	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 年末年始
北上文化プラザ	1階廊下 西端	9:00~21:00 (火~土) 9:00~17:00 (月、祝)	日曜日、年末年始
錦田公民館	玄関前	9:00~21:00 (火~土) 9:00~17:00 (月、祝)	日曜日、年末年始
エコセンター	施設内	13:00~17:00 (火~金) 9:30~16:30 (土、日)	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 年末年始
三島市民体育館	玄関ホール内	9:00~21:00	第3月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月31日、1月1日)
保健センター	玄関出入口付近	8:30~17:15	土・日曜日、祝日、年末年始
大場公会堂	玄関ホール内	9:00~21:00	日曜日、年末年始
三島市清掃センター	受付	9:00~11:30 13:00~15:30	土・日曜日、祝日、年末年始

物を大切にする心を育む ～おゆずり会～

三島市内の幼稚園で始められた「おゆずり会」を、ママ友サークルの方々の協力で、平成27年から本町子育て支援センターにて実施しています。乳幼児の衣服・靴・絵本など、子供が成長して家庭で不要になったものを持ち寄って、必要なご家庭に無料でゆずって使ってもらおうという目的で始められました。あげる側の「愛着があって捨ててしまうのはもったいない」という気持ち、もらった側の「頂いたものを子供と一緒に喜んで使う」という気持ち、両者の間の心のコミュニケーションを通じて、物を大切にする心や優しさを育てて行けたらと、今後も続けて行くそうです。

～お問い合わせ～
本町子育て支援センター
電話：991-6100



第一回おゆずり会の様子

クイズの答え：①の汚れたり濡れたりした衣類、⑥の靴、⑦の座布団や布団類、⑧のかばんは回収に出せません。ご注意ください。

○衣類回収ボックスに出せるものと出せないものは？

【回収ボックスに出せるもの】



【回収ボックスに出せないもの】



⇒汚れたものや、靴・カバンなどが回収ボックスに出されていることがありますが、これらはリサイクルできませんので、燃えるごみに出してください！

○回収された衣類はどうなるの？

衣類回収ボックスに入れられた衣類は、回収業者により集められてリサイクル工場に引き渡されます。その後、衣類として再利用できるものとできないものに大別され、再利用できるものは海外（東南アジアなど）で販売されます。再利用できないものは、機械清掃用ウエスや自動車用の床マットなどの工業製品にリサイクルし有効に使用されています。

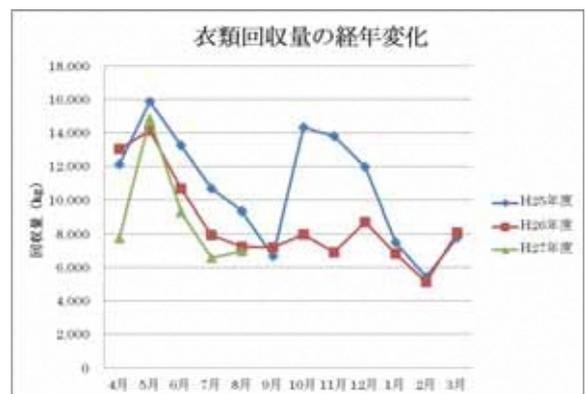


自動車用のフェルト

○今までにどれくらいの衣類が回収されたの？

平成 25 年 4 月から平成 27 年 8 月分までの衣類の回収量は右のグラフのとおりです。各年度の回収量の変化を比較すると、どの年度も 5 月の回収量が最も多くなっています。これはちょうど春から夏にかけての衣替えの時期と、ゴールデンウィーク(長い休み)の時期が重なるためかもしれません。

なお、市民一人当たりの年間回収量は平成 25 年度は約 1,155g、平成 26 年度は約 936g、平成 27 年度は約 803g(8 月末日の回収量をもとに推計)です。



和服のリフォーム

錦田消費者グループ(グループ長:渡辺節子氏)は日頃から消費者問題や環境問題に取り組んでいます。

牛乳パックを活用して椅子を作り、錦田公民館で使用して貰っており、手作りのゴキブリ団子は毎年行われる『みしま生活展』で来場者に配布しています。この度は和服をリフォームして二部式のスーツにし、三島市消費者連絡協議会・総会で披露し好評を得ました。なかなか着なくなった和服も、洋服仕立てにすると着る機会も増えてきます。

ダンスで眠っている和服もリフォームで着てもらえると喜んでいる事でしょう。



リフォームした和服(奥、会員着用)と、牛乳パックから作った椅子(手前)

～清掃センターより～

年平均115tの衣類を回収していますが、まだまだ燃えるごみの中に衣類が含まれていると思われ、回収量を増やしていきたいと考えています。そのため今後の課題は、市民の意識を高めるための周知や、衣類を出しやすい環境をつくることだと考えています。

衣類を回収ボックスに入れると、その分燃えるごみの量が減るので、老朽化した焼却炉の負担が減り施設の延命化につながります。是非、衣類の回収にご協力ください。



衣類の回収についてのお問い合わせは
三島市生活環境課：971-8993

中郷地区エコリーダー活動の紹介ー中郷地域の「いいところ」づくりー

休耕地の活用

地域の休耕地を活用し、花や野菜を育てています。ジャガイモやサツマイモの植え付けや収穫の際には、大場幼稚園の園児も参加し、とれたての野菜のおいしさを実感しています。

また、収穫した野菜を利用して作ったじゃがバターやヤキイモ等を「三島パサディナ夏祭り」や「みしま秋まつりフードフェスティバル」で販売しています。



ジャガイモの収穫（6月）

機関車型のヤキイモ焼き機



みしま秋まつりフードフェスティバル 2014 への出店（11月）



パサディナ地区ゴミ拾いウォーク

2007年の8月に開始してから2015年7月までの間に35回実施し、延べ606人の方が参加してくれました。

活動開始当初よりごみは減りましたが、依然としてなくなりません。ごみ拾いを通じて人の輪（和）も広がれば・・・と願いつつ、これからも続けていきたいと思えます。



パサディナ地区ゴミ拾いウォーク（5月）

皆さんも地域での環境活動に参加しませんか。お問い合わせは下記、環境政策課へ。

【編集後記】三年前から始まった衣類の回収、そのゆくえを今回調査しました。回収業者に買い取られリユース・リサイクルされ資源として活かされていることが分かりました。美しい湧水の恩恵を多方面で受けている三島は、今の美しさを先人たちの並々ならぬ努力のおかげで取り戻しました。それに比べれば、一人一人がほんのひと手間を惜しまずにゴミの分別をすることが、子供達の未来になるべく負担をかけないことに繋がるのではと思います。「捨てればゴミ、分ければ資源」いつも心がけたいですね。（た）

編集スタッフ（市民ボランティア） 飯田喜一・大村洋子
岩田明彦・柴原俊介・鈴木祥子・堀江紗代・青木博・羽田妙子

第26号（5月・10月の年2回発行）
平成27年10月15日発行
〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5
三島市役所中央町別館
環境政策課内
「エコライフみしま」編集事務局
TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728
E-mail:kankyuu@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用して発行しています。
エコライフみしまも再生可能な資源古紙です。